

ち づ 智頭 議会 だより



鳥取県智頭町議会
第130号
発行：平成27年4月20日

智頭の思い出シリーズ19



金刀比羅神社

昭和12年頃 坂原金刀比羅神社祈願祭：金刀比羅神社(富澤村坂原)河原町四丁目メンバーの出征軍人武運長久祈願行

- ☆ 27年度予算を可決...P2~P3
- ☆ 6人の議員が町政に質問...P7~P12
- ☆ 陳情の審査結果...P13
- ☆ 議会報告会のお知らせ...P13
- ☆ 委員会報告...P14~P17
- ☆ 町民の声...P18



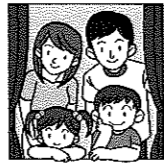
統合保育園建設・道路整備 移住定住促進事業などに力を入れた 予算を可決

平成27年度一般会計 全員賛成

総額 **69億1600万円**の当初予算

平成27年第1回定例会は、3月6日から18日までの13日間の会期で開催した。新年度予算、条例など51議案と2件の議員発議を行い、原案どおり可決した。(P6参照)

移住定住促進事業



9076万円

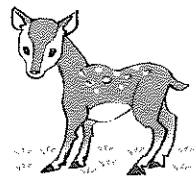
【事業内容】・本町に移住または定住を希望される人に対する支援。

- ・移住定住用住宅を新築。(1800万円×2棟)
- 財源 県補助金:850万円/町:8226万円

議員の指摘と執行部からの回答

- ★新築2棟はどこに建てるのか。
→智頭テクノパーク(三田)に建てる。
- ★本町在住者が住み続けてもらうための支援も必要。
→昨年度同様支援する。

鳥獣等 被害防止事業



2533万円

【事業内容】鹿や猪など有害鳥獣の捕獲を推奨する。

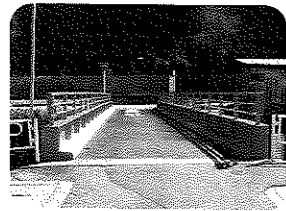
■財源 県補助金:1370万円
町:1163万円

議員の指摘と執行部からの回答

- ★地域おこし協力隊の雇用は何が目的か。
→捕獲個体を資源として有効に活用することを探るため雇う。

道路新設改良

2億416万円



【事業内容】町道の整備や新設、橋りょう修繕、点検の他、道路照明整備(LED化)することにより、住民の生活環境や通勤通学の安全確保を図る。

■財源 国補助金:1億2577万円/町:7839万円
【主な事業】橋りょう修繕(5カ所):5200万円
公共施設駐車場(2カ所):3400万円
道路照明LED化(50基):1000万円

森林セラピー事業



5029万円

【事業内容】本町の森林資源を活用し、健康増進や都市との交流、誘客などを行う。

■主な財源 過疎債

議員の指摘と執行部からの回答

- ★森林セラピーロードの新規整備2地区はどこか。
→土師地区(天木)と山郷地区(中原)

第3子以降の 保育料を無料化



954万円

【事業内容】第3子以降の保育料を無料化し、多子世帯の子育て負担の軽減を図る。(年齢には関係なく、第3子以降は対象になる。)詳しくは教育課へ TEL:75-4119

町営住宅建設事業



2351万円

【事業内容】老朽化し危険な久志谷公営住宅(3棟6戸:昭和32年建設)を解体撤去し、跡地に町営住宅1棟建設。

■財源 全て町負担

統合保育園 建設事業

8億7977万円



【事業内容】諏訪とあたご保育園を1園化し、新築移転する。

■主な財源
国交付金:1億円
町(建設事業債):7億7800万円他

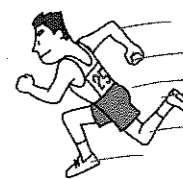
議員の指摘と執行部からの回答

- ★用地購入費も入った予算か。
→用地購入、建物建築予算が入った予算。
- ★建設場所はどこか。
→現在交渉中のため、今の段階では明らかにできない。
- ★予算の見積り根拠は
→智頭中学校建設を元に。

ここに注目 新規事業紹介

◆智頭町トップアスリート
支援事業補助金(新設)

有望なスポーツ
選手の遠征費を
補助する。



◆共生の里推進(新設)

五月田集落と(株)鳥取銀行が、5年間にわたり農地や農業用施設を保全・活用しながら、特産品開発と賑わいを創出する。

◆ウッドスタート(新設)

諏訪保育園に木の
遊具で遊べるコー
ナーを作る。



◆防災ハザードマップ作成
(新設)

100箇所の避難所を明示し、
今秋をめどに全戸に配布する。

◆店舗改修(新設)

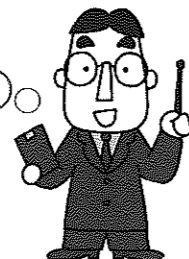
小売店などが店を改修するた
めの費用を助成する。3分の1
の補助率で、上限50万円。

◆過疎地有償運送

智頭町民であり、自動車免許を持
たない方が利用できる。
運行区域は、町内のみ。

利用料金 入会費11000円
年会費16000円
(年会費は、町が3000円補助)
3km以内は、3000円(券1枚)
3km以上は、6000円(券2枚)
1枚3000円×10枚綴り

お問い合わせ...
智頭町シルバー人材センター
TEL75-0170



当初予算は約300ページにわたる予算書を1ページづつ見ながら、3回審議します。紙面の関係上、議員と執行部とのやりとりは多く掲載できませんが、各事業について現状と課題、期待する効果の他、様々な角度から質問し、議会が納得するまで、とことん質疑が繰り返され、最終判断をしています。

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容
一般会計	2億2685万円 減	79億2917万円	・土地開発公社の不良債務を計画的に解消するための助成 (1億2496万円) ・除雪費(400万円) ・各種事業の決算見込みに伴う減額
特別会計	国民健康保険	2431万円 増	決算見込みに基づくもの
	住宅新築等資金貸付事業	53万円 減	//
	公共下水道事業	9541万円 減	智頭テクノパーク工事費の減額
	農業集落排水事業	11万円 減	決算見込みに基づくもの
	後期高齢者医療	380万円 減	//
水道事業会計(資本的支出)※1	2767万円 減	2億309万円	智頭テクノパーク工事費の減額
病院事業会計(収益的支出)※2	1716万円 増	19億46万円	決算見込みに基づくもの

※1 施設の建設改良に関する投資的な経費
※2 日々の事業に必要な経費

■工事請負変更契約の議決■ 1～4は全員賛成、5は岸本議員が反対

番号	工事名	契約金額		変更の概要	請負者
		変更	変更後		
1	防災行政無線施設整備工事	1301万円 増	5億7072万円	電波の関係で牛臥山に中継局を追加など	西日本電信電話(株)
2	智頭中学校改築工事	535万円 増	18億3849万円	体育館の窓の開閉装置、屋根の箱樋(はこどい)の材料変更など	大和建设・懸樋工務店・田中工業共同企業体
3	智頭中学校校舎等解体工事	58万円 減	9100万円	植栽木の移設本数の減	(株)寺谷組
4	智頭温水プール薪ボイラー導入工事	71万円 増	5838万円	温度を正確に把握するため、積算熱量計を追加	日本下水道工業(株)
5	智頭町クリーンセンター解体工事	3477万円 増	1億2009万円	施工の安全を確保するため、段差となっている箇所に崩落防止対策(山留工)の追加	(株)谷口工務店

注1：予定価格が5000万円以上の工事は、議会の議決が必要。
注2：契約金額は、万円単位で四捨五入して標記。

介護保険料620円(月額)↑アップ

職員給与の引き下げなど 条例を可決 全員賛成

一部改正

介護保険条例

【介護保険料の増額】
基準額を6100円(現行5480円)とする。(P6参照)
【介護予防給付(要支援1と2)の体制整備の猶予期間を規定】
法律改正により、訪問介護と通所介護が町の事業へ移行する期限を平成29年4月1日(認知症施策は平成30年4月1日)まで猶予することを規定。



指定地域密着型・介護予防サービス事業の人員・設備等に関する条例

法律改正により、引用する条項等を変更。

病院事業の設置等に関する条例

法律の規定により算定する使用料の徴収根拠をより明確化するよう規定。

児童福祉施設の設置・管理等に関する条例

法律改正(子ども・子育て支援法)により、町立保育所の入所資格、使用料について規定。

(参考：現行の内容と実質的に変更なし。)

職員の給与に関する条例

人事院勧告を踏まえ、単身赴任手当、管理職特別勤務手当の改正、給料表の額の引き下げ(平均2%)、職務分類表の見直し。

・単身赴任手当月額2万3千円↓3万円

・給料表3級(係長)以上は、最大4%程度(平均1万円)の引き下げ。

教育施設整備基金条例

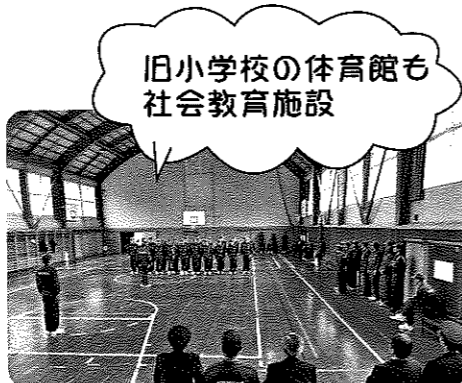
この基金は、教育施設を整備するために貯金するもので、このたび、社会教育施設などもこの基金で整備できるように条例に追加。

(参考：平成26年度末の基金残見込み額は約5億2千万円)

新規制定

地方教育行政の組織等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理の条例

教育委員長と教育長が一本化され、新たな教育長を置くことに伴い関係条例の改正を行う。



旧小学校の体育館も社会教育施設

【公の施設の指定管理者の指定(継続指定)】全員賛成

施設名	施設管理者	指定の期間
温水プール	(株)エヌ・エス・アイ	平成27年4月1日 ～ 平成30年3月31日
老人福祉センター	特定非営利活動法人 和の輪	
農業団地センター	鳥取いなば農業協同組合	
総合案内所、旧塩屋出店、西河克己映画記念館	智頭町観光協会	
石谷家住宅、消防団本町分団屯所	一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団	

平成27年度予算（一般会計）
に関する補足説明

▼自主財源（町税など町が自ら調達できるお金）は、収入のうち23%。（昨年度は28%）

▼支出のうち人件費は14%。（昨年度は13%）

▼平成27年度の起債（借金）残高は73億6千万円で、昨年度より10億2千万円増加する見込み。

▼今後の建設事業により、起債のピークは平成31年度であり、本年度中に財政計画の見通しが議会に報告される予定。

予算案の可決にあたり、議会から執行部へ意見を述べました。

【将来にわたって持続可能な財政運営に努めるとともに、「地方創生」に向けては、智頭町らしい積極的な発想でまちづくりを推進されたい。】

全員賛成

第7次智頭町老人福祉計画
第6次介護保険事業計画

■法律の規定により3年ごとに計画しているもの。

■団塊の世代が後期高齢者になる平成37年を見据え、本町の目ざす地域包括ケアシステムを明示。

■この中で、介護給付費の予測に基づき、平成27年度から29年度の3年間の基準額を月額6100円にすることを計画。（参考：県平均は6145円）

全員賛成

人権擁護委員の推薦

任期満了により、國本誠二氏の継続推薦に同意。

全員賛成

智頭インターチェンジに高速バス停留所設置を求める意見書（議会提出議案）

住民団体の陳情採択（前129号P12参照）に基づくもの。

【平成26年度予算の補正】 第1回臨時会 2月20日 全員賛成で可決

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容
一般会計	1億337万円増	81億5602万円	<p>【国の緊急経済対策に伴うもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券(2200万円) ・住宅リフォーム助成(1000万円) ・智頭杉モデル住宅整備(2000万円) ・森林セラピー事業(987万円) ⇒企業研修を誘致するためのプログラム作成 ・林業新規就業支援事業(300万円)

一般質問について

一般質問とは、町政全般について町長などの執行部に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。

- ※1 一般質問の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

一般質問の録画をインターネットで見ることができます。

アクセス
方法



智頭町役場
ホームページ



智頭町議会
録画放送



議員名を
クリック



大河原昭洋

畜産団地

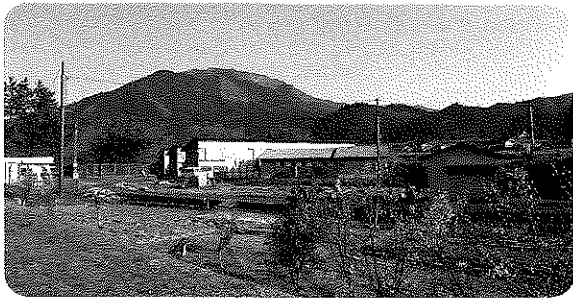
事業要件を満たしていない状態

町長／施設を廃止する方針

問 本折地区畜産団地は昭和59年、国や県の補助制度を活用し、団地を造成して設置された。

「しかし、平成14年から現在まで、受益戸数3戸以上という補助要件を満たしていない状態が継続している。改善に向けての努力経過は。」

答 町長 平成16年に県から「補助金を活用し建設した施設であり、畜産農家3戸以上にす



畜産団地の全景

問 この団地は、総事業費2億6500万円。本町も8600万円以上、町民の血税が投入されている。今後の利活用をどのように考えているのか。

答 町長 このまま事業要件を満たさない場合は、1年後、施設を廃止する方針である。

問 畜産組合に町の方針は伝えてあるのか。また、生き物を飼育しているのでもしも居座られたらどのような対応を考えているのか。

答 町長 畜産組合長宛に通知している。世の中は全てルール、規則、秩序によって保たれている。もしもの場合は毅然とした態度で司法の手にゆだねる決意。

LED照明

器具購入に費用補助の考えは

町長／新年度から店舗改修に助成

問 政府は2020年までに全ての照明を省電力のLED製にする方針である。今後、本町で導入促進するため全町内の家庭や事業所を対象に、費用補助を実施する考えはないか。

答 町長 環境をテーマに本町も施策を検討しなければならないが、新年度は社会資本事業で順次街灯のLED化を予定している。家庭や事業所の補助制度は、現時点では考えていない。

答 町長 新年度から小売店の店舗改修費助成を考えているが、町内企業ブランドのLED照明を設置した場合、さらに補助率をアップする。

問 省エネと地球温暖化対策を目的とする環境をテーマに、本町が地方創生特区の指定を受けられたら、全町隅



LED照明製造工場(町内企業)



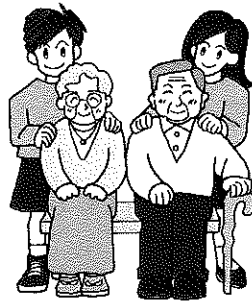
平尾 節世

社会教育

今後の方向性と計画策定は
教育長 / 27年度は策定に向け努める

問 地域を盛り上げる元気な心や、自分を高めたり、他人に優しい心を育むなど、町民一人一人が豊かな人生を送るためには、社会教育は重要である。社会教育主事が任命されて1年が経過した。今後の方向性は。

答 教育長 公民館の原点に返り、時代のニーズに合った活動となるよう指導者の育成や、地域人材の発掘と育成の体制充実を図りたい。



問 社会教育主事の基本的な役割は、社会教育計画の策定と社会教育団体の指導助言と聞いているが。

答 教育長 27年度は計画策定に向け努める。

農業政策

将来を見すえた取り組みを
町長 / 地方創生の中に組み込みたい

問 智頭町は林業、農業を基軸とした町づくりを提唱しているが、町の農業就業人口の平均年齢は高く、県内で3番目である。現在でも耕作放棄地が目立つが、高齢化が進み、人口も減少する中で、将来への農業政策は。

答 町長 耕作放棄地は55ヘクタールだが、再生利用事業で11ヘクタールの再生をしている。交付金事業に取り組む。交付金事業に取り組む地域の拡大を図るとともに、新規就農者の確保育成、集落営農の組織化、大規模な中心的担い手への農地集積を進めている。

問 人口体系を見れば将来は現在の集落営農が難しくなる可能性もある。移住者の就農は大歓迎だが、気候や土地の特徴が自然と身につけている町内若者もいる。農業に目を向けるきっかけ作りとして、新規就農者に年間150万円が5年間支給される。

国の補助、プラス町独自の施策として、農業先進地で数年間の研修を積み、経験を重ねてから、成果を町内で発揮できるような研修制度は考えられないか。

答 町長 研修制度も一考と思う。農業をやりたい人が増えていることは事実なので、そういう人たちを呼び込み、地方創生の中に組み込んでいきたい。



高齢化が進む農業



岸本眞一郎

ちほうそうせい 地方創生

町長／方向性におおむね違いはない

山村再生と地方創生の方向性は

問 第6次総合計画の

「林業・農業を軸とした町民が主役の魅力あふれる元気なまち」を具体的に実現するために、山村再生課を設置し一次産業・地域の再生を目ざしてきた中で、人口減少の歯止め・東京一極集中の是正・成長力確保を柱とした地方創生の総合戦略が打ち出された。



中学生が提案する百人委員会

答 町長 本町における山村再生の取り組みは、行き詰まっている林業・農業を新しい発想で、柱に変えて高齢

者の居場所と出番を創出し、地域を元気にしていくことを目的にしている。

地方創生においては、林業・農業はもちろん、観光・教育・医療・福祉の他、町を取り巻くすべての現状を踏まえた地域再生への総合戦略策定ということで、方向性においておおむね違いはないとの認識だ。

問 総合戦略の新しい切り口や、目玉的な政策はどうか。

答 町長 これがおそらく地方のラストチャンス。いい風に乗れば

この町がどうやって地方創生に打って出るか。極端に言うとうと、あつと驚く為五郎的な発想を打たないと、なかなか認めてもらえないと覚悟している。

議員の皆さんと相談しながら、後日話をさせていただきます。

ちほうそうせい 地方創生

総合戦略の新しい政策は 町長／議会と相談しながら進める

問 戦略策定に審議会

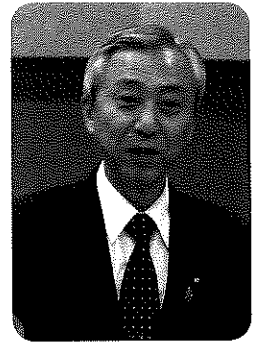
を作るようだが、提案型町政をより掘り下げ、地域・集落の人々の提案を活かす仕組みが必要だと思うが。

答 町長 私はリーダーとして、ある程度の骨子だけでも皆さんに示し、地区振興協議会

など、町民の考えとリンクさせるような行動をしなればと考えている。



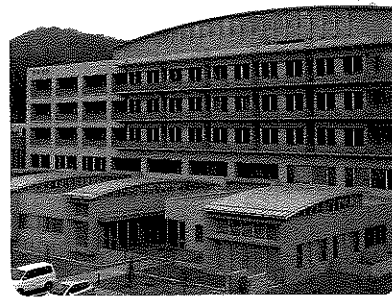
重要な景観の認定を目ざして



高橋 達也

智頭病院
改革プラン
進捗状況などの公表が不徹底
管理者／改めて再度やっていく

問 改革プランは、平成27年度が最終年度だ。概ねプランに沿った運営がなされており、関係職員の尽力に敬意を表する。しかし、プランに規定されている進捗・達成状況の公表が不徹底だ。



保健・医療・福祉の総合施設

ムページで公表しており、誤解があるのでは。

答 町長 議会には委員会です業管理者から詳細に説明させている。
答 事業管理者 議会の委員会に説明した後、広報ちづ、病院のホー

問 決算状況は広報ちづに公表されているが、プランとの比較はない。ホームページではプランは掲載されているが、進捗・達成状況は公表

答 事業管理者 改めて再度詳しくやっていくが、現状でも公表していると解釈している。

意見 今年度は病院開設60周年だ。節目の年を契機に、患者さん、利用者さんの心に響く病院経営にしっかり取り組んでいくことを期待する。

注 智頭病院改革プラン 国が策定した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成21年3月に策定したプラン。3つの視点(①経営の効率化②再編・ネットワーク化③経営形態の見直し)に立った病院経営の改革により、地域医療の安定的な確保と持続可能な病院経営の実現を図ることを目的としたもの。

問 平成26年度は、建設用地取得のための測量調査などが行われている。用地面積が9千㎡、建物面積が2千㎡ということだが、どこに建設するのか、用地選定理由の説明がない。

答 教育長 候補地の絞り込みをし、用地関係者へ協力いただけるかの意向打診中の段階であり、現段階で建設地は決定していない。

問 町民に関心のある事業だ。行政として説明責任を果たすため、今後のスケジュールや進み具合を広報ちづや町のホームページで公表すべきだ。

答 教育長 27年度は用地確保と設計、工事に着手したい。情報発信し、町民に関心を持っていただけるよう努めていきたい。

意見 長石教育長は、よく情報を公表してもらってありがたいと町民に思っていただけのように頑張ってもらいたい。

今後のスケジュールはどうか
教育長／27年度は工事に着手したい

あたご保育園

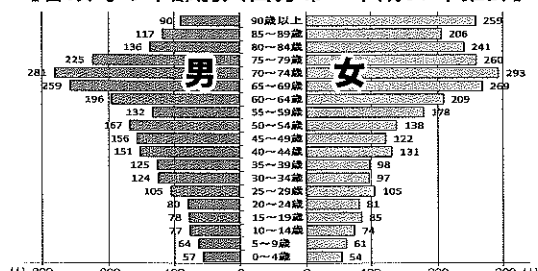


あたご保育園

問 福祉課が作成した地区座談会の資料によると、本町の人口は2025年までの10年間に2077人の急激な人口減少があり、5581人と推計している。特に20歳から30歳代の女性の人口は614人から381人へと4割近く減少をみている。一方で、戦後生まれのいわゆる団塊の世代が後期高齢者の仲間入りをすする。人口減少対策と高齢化対策は喫緊の課題であると考ええる。



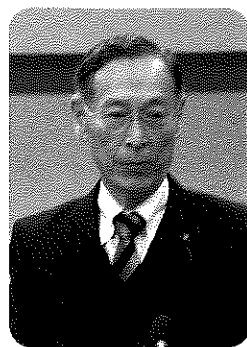
【智頭町の年齢別人口分布 平成37年推計】



70～74歳を頂点を逆ピラミッド型になっている人口分布 (福祉課 地区説明会資料による)

人口減少

町長／地方創生総合戦略で位置づける



徳永英太郎

少子化対策を最優先に

認識と対策について聞きたい。

答 町長 それぞれの集落が抱えている多くの問題が、さらに深刻化する。重大な危機感を持つている。若い世代に魅力ある地域となるよう、子育て、教育、福祉とともに、移住定住対策を引き続き積極的に進めていく。

問 中でも少子化対策は最優先課題であると考ええるが。

答 町長 重要項目として捉えて、若年層にとって自分たちの将来に向けて夢が実現できる場として感じられるような町づくりを、地方創生総合戦略の中で位置づけていく。

問 図書館は、ただ単に本の貸し出しのみならず多くの側面を持つていると考ええる。基本的な考え方はどうか。

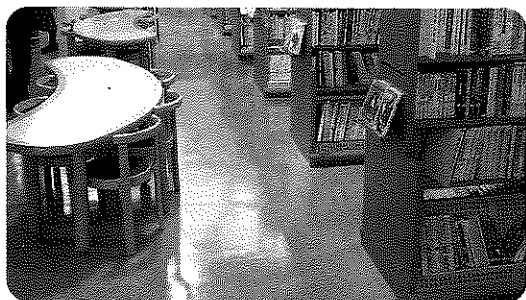
答 町長 情報の拠点であり、人と人をつなぐコミュニティの場であり郷土の貴重な資料を保存する施設であり、住民生活に欠かせない身近な存在である。

問 全国各地で最近注目を浴びている事例を見ると、それは交流の場としての図書館であり、町づくりの拠点としての図書館である。本町はどのような構想をもって取りかかっているのか。

図書館

町づくりの拠点に
教育長／にぎわいの空間にしたい

答 教育長 多様な情報源として皆さんの要望に応えようと、ともに、人が集い交流し、新たな創造につながる場であり、新たな出会いにもつなげたい。誰にも愛される、にぎわいの空間にしたい。



座れるスペースを多くとっている愛知川図書館(滋賀県)



中野 ゆかり

地籍調査

町長／平成66年を想定している

終了目標年度は

問 過疎化や高齢化が進む現在、土地の境界の調査に必要な人証や物証が失われたら、調査はますます困難となっていくため、民家や畑がある平地の調査が急がれる。

また、大規模災害において、被災地の土地の境界や権利関係はつきりしないため、復旧に支障を来したという例が幾つも報告されているようだ。



山地での境界調査

答 町長 進捗率は28%。終了は平成66年を想定している。

地籍調査

町長／検討する

問 地籍調査終了があと40年かかるといふことだが、人証や物証がないために、地籍調査が進まないということも予想される。

答 町長 山と平地を分けて考えることは、内部で検討する。



地権者立ち合いでの境界調査

陳情の審査結果(全員賛成)

採択

次の4件については、陳情の趣旨を認め「採択」しました。

件名	陳情者(提出者)
土石流防止対策の陳情について	尾見区長 寺坂 友多
治山工事(土砂崩落防止工事)施工の陳情について	尾見区長 寺坂 友多
生活道路修繕の要望書	福原部落区長 藤原 和寛
陳情書(旧那岐小学校入り口学校橋の改良)	那岐財産区議会 議長 小谷 博明 他2団体

不採択

次の2件については「不採択」としました。

件名	陳情者(提出者)
①教科書採択改善のために、総合教育会議(設置)の準備に関する陳情について	教育を考える鳥取県民の会 会長 河合 鎮徳
②中学校で使用する歴史・公民教科書の採択基準に関する陳情	教育を考える鳥取県民の会 会長 河合 鎮徳

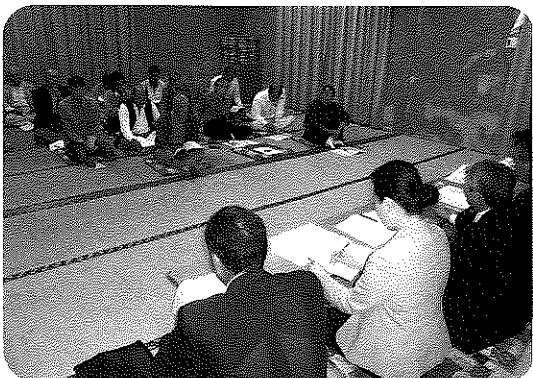
【不採択の理由】

①、②とも願意は理解できるが、東部地区一円で、考えることが重要であり状況をみながら判断すべき。

陳情書は定例会が始まる

10日前までに提出してください。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。TEL 75-3115



昨年の議会報告会(上:那岐地区・下:山郷地区)

いずれも午後7時から開催します。
改めて、5月に告知端末でお知らせします。

22日(金) 山形・土師地区
21日(木) 那岐・智頭地区
20日(水) 富沢・山郷地区

今年も行います!

議会の活動を町民の方に直接お知らせする
議会報告会を次のとおり開催します。

議会報告会を

5月

に行います

皆様のご参加をお待ちしています!

町内視察

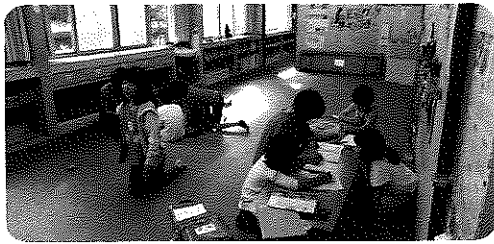
視察日
1月28日

■内容

①智頭中学校につきましては、生徒（3年生）と給食を囲み、子どもたちの思いを聞きながら意見交換をした。（明るく楽しく話しができた。）

②智頭テクノパーク福祉施設につきましては、建物の完成はしていたが、時期が早かったため内部の機器などが整っていないかったが、素晴らしい施設が完成していた。

③那岐保育園跡地に、パン工房、地ビールの会社が入るため、急ピッチで改修が行われていた。
（開店は6月ぐらいの予定）



通常多い時には約40人弱の児童が集まる放課後児童クラブ（智頭）

④最後に放課後児童クラブ（桑田医院跡地）に訪問してみました。勉強している子、遊んでいる子、子どもの数が多いため、場所的に狭く感じました。

■まとめ

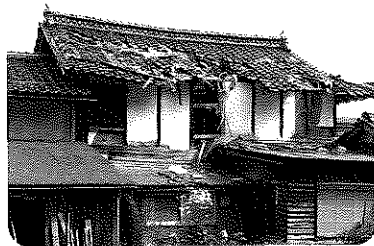
3箇所については、前向きに進んでいきましたが、最後に訪問した放課後児童クラブについては、改善の必要があると強く感じられた。

所管の委員会

開催日
2月16日

●町内において

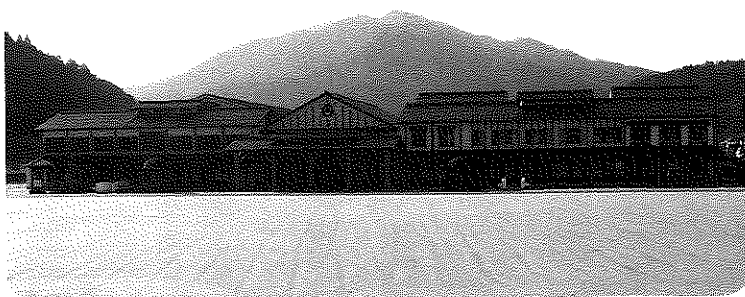
景観条例ができしたが、あわせて空家定住対策と共に廃屋対策も考えていかなくはならない段階にはいつている。



各地区に危険を伴う廃屋があり、踏み込んだ政策の必要性を痛感しました。

●智頭テクノパーク活用

につきましては、下水道と上水道は完成しましたので本年におきましては、定住対策の一環として、新しくおためし住宅2棟が建設されることになっています。



4月9日に竣工式が行われた智頭中学校

●中学校の建設においては、近隣の方々にはご迷惑をおかけした部分もあります。3年生は、無事に新しい体育館で卒業式を迎えることができました。また、校庭におきまして、3月をもって完成となっております。

●保育園におきましては、諏訪・あたごの一園化を目ざして用地交渉と建物の概算の検討に入っているところでありますが、進捗状況は随時、議会だよりにてお知らせしていきます。

●昨年に続き、県内でもいち早くプレミアム商品券（一億円分）を発売、好調な売れ行きとのこと、3月20日をもって完売しました。



27年度事業の構想を聞く

1月26日の
委員会内容

各課の事業進捗状況、27年度事業の構想について

説明を受けた後、温水プール薪ボイラー事業、尾見集落陳情箇所の現地視察を行いました。

事業の進捗状況

一部課題は残るものの、ほぼ順調に進んでいます。

27年度事業構想

■山村再生課

木育体験、薪ストーブ導入、林業新規就業支援事業など。



薪ストーブ

■地域整備課

道路照明LED化、町道新設工事の施工。

■地籍調査課

進捗率を上げるため、職員を増員し、2班から3班体制にします。

■農業委員会

農地台帳のインターネット公表と、農地有効活用事業など。

2月25日の
委員会内容

福祉課、病院の

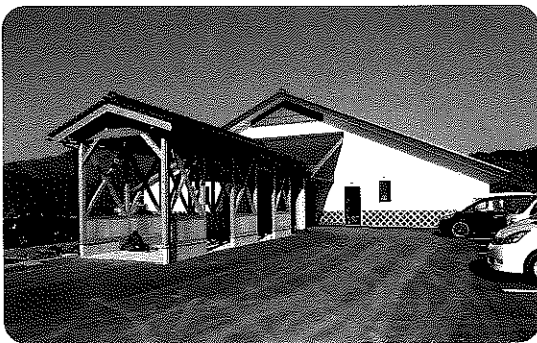
事業進捗と、経営状況及び来年度事業構想を聞き、社会福祉協議会を交えた意見交換を行い、午後、智頭テクノパークに完成した、地域密着型特定施設「すわの郷」を視察しました。

■福祉課

老人福祉計画、介護保険事業計画、国民健康保険会計などについて説明を受けました。

介護保険事業では、利用者の増、介護度がアップの傾向です。

国民健康保険事業では、高額医療費、療養給付費の増、基金残高の減少による保険料増が予想されるとのこと。



智頭テクノパークに完成した「すわの郷」

智頭病院の常勤の医師が9名に
いつまでもこの町で暮らしたい

智頭病院

経営状況については、当初見込みより入院・外来患者の増による収益の増が見込めるようです。

病院内食堂が経営赤字のため、3月末で終了したいとの申し出があり、その対応を検討中です。

来年度は自治医大からの派遣医が4名になり、常勤の医師が9名になります。



社会福祉協議会

成年後見制度について、意見交換をしました。「成年後見制度」とは認知症や知的・精神障がいなどによって、自分一人で物ごとを決める自信がなかったり、判断が十分にできなくなった場合に家庭裁判所に選任された人が本人に代わって自分の思いを大切にしながら決めてくれたり、アドバイスをする制度です。

本町でも高齢化が進み、日常生活での金銭管理や財産管理などが必要とされる人が増えることが予想され、社会福祉協議会が持っている法人後見資格は、頼もしい存在だと思います。

議会広報モニターさんからの指摘を受け 様々な箇所を改善しています

智頭町議会広報の編集改善と町民の世論を反映するため、議会だより127号から21人のモニターさんに編集内容や、ご意見を用紙に書いていただいています。

今回は前号の指摘や改善箇所をお伝えします。

1 表紙

「智頭の思い」



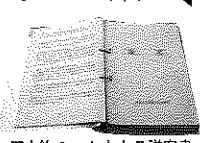
「智頭の思い」写真は、出シリーズ」写真は、いつも興味を持って拝見しています。議会とは直結しなくても、写真を世に出す機会があることは有意義です。

実は、全国の議会広報を審議する審査委員の意見で、「表紙は、今」を取り上げたい。という指摘を受けました。しかし、モニターさんのご意見を基に、当委員会が編集する間は、智頭の昔にこだわります。

2 定例会の内容

◆定例会全体の議案の審議状況が分からない。

今号は議案全体の数を掲載しました



厚さ約6cmにわたる議案書

た。(2ページ)審議状況については極力掲載しますが、紙面の関係上難しい時もあります。

◆議員の質問について執行部の回答が簡素。

回答内容をもっと少し具体的に掲載するよう努力します。



多くの指摘を記入して下さる議会広報モニターアンケート

3 議会録画放送

一般質問の議会録画放送を見ました。非常に興味深いものであったので、たくさんの人に見ていただけるような紹介を希望します。

6ページに掲載している方法でアクセスしていただくのと、一般質問の様子を動画で見ることができます。紹介方法は工夫します。

4 町民の声

◆信清健二さんの投稿記事は、本町の良さを未知の方に良く伝わる文章だった。

◆移住して来られた方の意見を町民が読むことができるのは、良いことだと思う。



信清さんご家族

「町民の声」は各地区順番に、主には団体の方に投稿していただいています。ご意見を受け、「移住者の声」をシリーズ化することは今後検討します。

です。写真を楕円形にしたり、かわいらしい書体を使ってはどうでしょうか。

◆中・高校生にも読んでいただける広報を目ざして、いずれも改善していきます。

その他たくさんのご意見をいただきました。ご意見を基に、できる限り改善していきます。

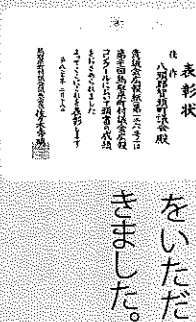
5 文字・デザイン

◆中学生の目線で読むと、読めない字があるので、できるだけふりがながあると良いです。

◆議会だよりは四角ばかりでおもしろくない

智頭議会だより126号
佳作受賞

第22回鳥取県町村議会広報コンクールにて、佳作をいただきました。



行政評価実施要項(案)を協議

■意義

議会独自の行政評価を行い、問題点を明らかにすると共に議会本来のチェック機能を發揮する。評価結果は、議会から町民へ情報発信する。

■基本方針

「議会政策提言」などに対する町の予算措置事業を評価対象事業とし、町が実施した政策、施策、事務事業について、有効性、妥当性、効率性の視点から評価する。

■目的

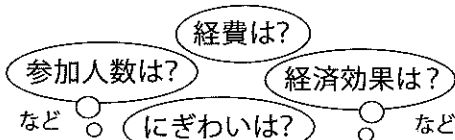
智頭町議会基本条例第7条及び19条に基づき、議会による行政評価を実施し、町執行機関の活動を監視評価することで、適正な行政運営の確保に努める。



執行機関 (役場)

■実施計画

行政評価は、各常任委員会(総務・民生)で、閉会中の継続調査・審査として実施する。



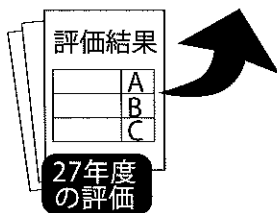
具体的な取り組み

① 評価対象事業を8月に選定し、執行部の成果説明後に各常任委員会の議員が事業評価する。その後に委員会で意見集約する。

② 事業評価シート及び事務事業評価一覧表を作成し、評価結果を町長に提出する。

③ 行政評価結果を踏まえ、議会として次年度予算編成に向けた政策提言を行う。

28年度の事業へ反映

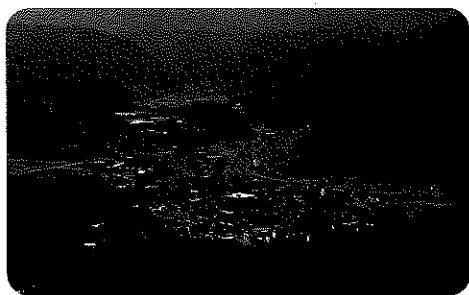


行政評価って何?

学校でいう「通信簿」みたいなものです。町の事務事業や施策に無駄がないかを議会が採点し、私たちの暮らしを良くするためにどうすれば良いのか、などを考えていくものです。

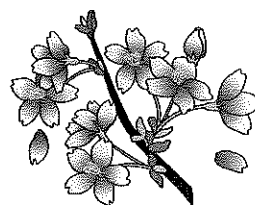


“夢と魅力のあるまち智頭町”の実現に向かいます。



牛臥山から望んだ智頭地区の町並み

議員表彰



町議会議員として多年にわたり、地域の振興発展に寄与された功績により、2人の議員が表彰されました。

酒本敏興 議員

議員歴 21年



石谷政輝 議員

議員歴 13年

豊乗寺 癒しの森に想う

富沢地区振興協議会 文化部長 西尾 健次さん

私は、生まれ育った富沢を離れ、年1・2回の帰省を繰り返して45年、地域の活動にはほぼ無縁でありました。

そして、63歳で実家に戻り、山林や畑をいじりながら地域活動のお手伝いができればと考えていました。

しかし、集落での活動には馴れて行くものの、富沢地区そして智頭町との関わりに無力さを考えさせられ、この45年間の人的な交流の空白を強く感じると同時に、この空白を埋めなければと思うようになりました。

その後、周囲の方々の誘いや勧めをいただいて、百人委員会、森のガイド養成講座の受講などに参加して交流の幅を広げつつ、智頭町の地域活動の様子を徐々に知ることができました。

そんな折、富沢地区振興協議会の創立で会員募集があり、文化部への参加を決めました。小学校跡地の活用をベースに、地域の振興策を創出することからスタートしたもののインパク

トのある策になりません。

そこで富沢が持つ最も誇れるものは何かと云えば、『高野山真言宗 宇谷山 豊乗寺』です。国宝『普賢菩薩像』を有する古刹でもあり、宇谷山の森と境内の高野槇や杉の原木が心を静めてくれます。特異な森林セラピーロードに仕立てられない

かなど、文化部で協議検討し、まず豊乗寺及びその周辺を地区住民の『癒しの森』にしよう、奥の院周辺及び参道の整備を始めて今年で3年になります。併せて旧小学校より上部と下部及びお年寄り子どもたちとの交流を深めようと『豊乗寺もみじまつり』を開催し、昨秋で2回を数えました。

参加人数はまだまだですが子どもたちの記憶に残る祭りでありたいと考えています。

また、『蛇の輪伝説』やその舞台となった豊乗寺の蓮池及び『蛇の輪』の籠山への眺望など、町内外からの来訪者に、散策し喜んでいただける利点はまだまだあ

りそう、今後その発見が楽しみであり。これらを伝えられるガイドを必要とされる『豊乗寺 癒しの森』に育てたいと思っています。

終わりに、町議会におかれましては、これら豊乗寺の持つ地域の宝物を決して持ち腐れにならぬよう、周辺整備などの支援要請には応えていただきたく思います。

お詫びと訂正

前129号の記事で次のとおり誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

■6ページ

最下段の写真説明
(誤) 中学生
(正) 智頭農林高校生

■13ページ

下から2段目 本人通知制度の3年登録が廃止
(誤) 4月1日から
(正) 9月1日から

※執行部の説明不足と広報常任委員会の編集ミスが原因です。

編集後記

130号という記念となる節目の智頭議会だよりの編集に携わり光栄です。

昭和57年7月に創刊号が発行されましたが、当時の35町村議会のうち、22番目の発行であったとのことです。

当時の議長は中澤五郎氏で、議員数は22人、町人口は約1万1800人でした。その後33年。隔世の感があります。時代は変われど、議会の役割は不変ですし、むしろ町民の皆様への情報提供の必要性は増しています。

議会広報誌の役割を再認識し、よりわかりやすい編集に心掛けて参ります。(高橋)

編集 議会広報常任委員会

- 委員長 中野ゆかり
- 副委員長 高橋 達也
- 委員 大藤 克紀
- 委員 岩本富美男
- 委員 南 肇
- 発行責任者 議長 谷口 雅人